



沖田 ゆかり 議員

Q 生徒の個人情報漏洩防ぐ端末更新を

A 教育長

個人情報の取扱基準に適合したプライバシーマークを取得している事業者を選定し、データ漏洩防止の徹底を図る。

【Q1】

GIGAスクール構想により、生徒一人一台の端末が整備されたが、来年度からの更新による大量の端末調達や処分について課題となっている。熊野町では何台の端末が更新されるのか。

【A1】

令和8年度に更新予定の端末が2,200台、新しく調達する端末は、生徒数の減少により2,060台となっている。

【Q2】

2,200台を一度に更新するのか。

【A2】

一度に更新する。そのうちデータ消去等をした上で、公共施設で再利用する台数などを業者と選定していく。

【Q3】

法令を遵守した適切な事業者に委託し、データ消去などの処理が確実に行われているか、教育委員会の立ち会いのもと実施していただきたいが。

【A3】

令和7年度に整備される市町を参考に適正な処理をしていく。



▲タブレットを使用した授業

Q 子育て家庭訪問支援事業の強化を

A 健康福祉部長

子育てしやすい町づくりに取り組む。

【Q1】

令和7年度に、こども夢プラザに子ども家庭センターを設置されるとのことだが、これまでとの違いは。

【A1】

母子保健と児童福祉の調整を行う総括支援員を配置し、サポートプランを作成する。

【Q2】

児童虐待相談件数については。

【A2】

新規の件数は横ばいであるが、事例件数としては令和5年度末には138件となっている。

【Q3】

家事支援について、母親の悩みの傾聴や助言は行われているのか。

【A3】

子育ての悩みについて一緒に考え、不安を取り除く心のサポートなどを行っている。

【Q4】

訪問支援事業は、母親との信頼関係が最も大切であり、人材育成に力をいれていただきたいが。

【A4】

現在実施している事業をさらに充実していく中で、人材育成も進めていく。



Q 児童生徒の虫歯予防に有効な「フッ化物溶液の洗口」の実施を

A 教育長

薬品管理や洗口液の濃度調整など課題があるが、検討する。

【Q1】

国の調査では、虫歯のある子どもの割合が年々改善してきているが、本町の小中学生の虫歯のある子の割合は、全国平均・県平均と比べてどうか。

【A1】

小中学生とも全国平均、県平均より10%以上多い水準である。

	熊野町	全国平均	県平均
小学生	44.9%	34.81%	32.1%
中学生	41.8%	27.95%	25.5%

【Q2】

永久歯に生え変わる時期に行うことで虫歯予防に有効なフッ化物溶液の洗口を小中学生になぜ実施していないのか。

【A2】

洗口に使用する薬品の管理、洗口液の濃度調整や後始末に課題があることから実施していないが、予防効果も大きいことから今後検討したい。

【Q3】

教育委員会では抜本的な虫歯予防対策が取られていない。歯科医や養護教諭、保護者等で構成するプロジェクトチームによる取り組みが必要ではないか。

【A3】

虫歯予防の結果が出ていないことは認識している。歯科医の先生と小中学校養護教諭で虫歯予防対策の連携を図る。保護者への啓発にもアンケート調査の実施と結果の検証を含め周知徹底を図る。

Q 児童生徒の近視予防のため、「1日2時間の屋外活動キャンペーン」の実施を

A 教育長

「ゼロの日運動」と統合した形で実行性ある取り組みを検討する。

【Q1】

近年、子どもの視力の低下が深刻な状況になっている。令和5年度の本町の小中学生の視力1.0未満の割合は。

【A1】

小学生は全国平均と同水準。中学生は全国平均よりも高い割合。

	熊野町	全国平均	県平均
小学生	37.82%	37.79%	39.4%
中学生	63.27%	60.93%	64.0%

【Q2】

家庭に対してタブレットなどメディア機器の使用時間のルール化や「ゼロの日運動」の実施等と呼びかけているとのことだが、実施状況等の把握は行っているか。

【A2】

把握していない。今後、小中学校養護部会と連携し、家庭での実態把握に向けたアンケート実施を検討する。

【Q3】

ロート製薬の調査結果や台湾、シンガポール等では、一日2時間の屋外活動と読書やデジタル機器を30分使用したら10分間は目を休めるという取り組みにより小学生の近視保有率が減少したという事例がある。本町も「1日2時間の屋外活動キャンペーン」の実施を検討しては。

【A3】

屋外活動は視力低下の問題だけでなく体力向上等にも効果がある。実態調査等を含め「ゼロの日運動」と統合した形で実効性あるものを前向きに検討する。